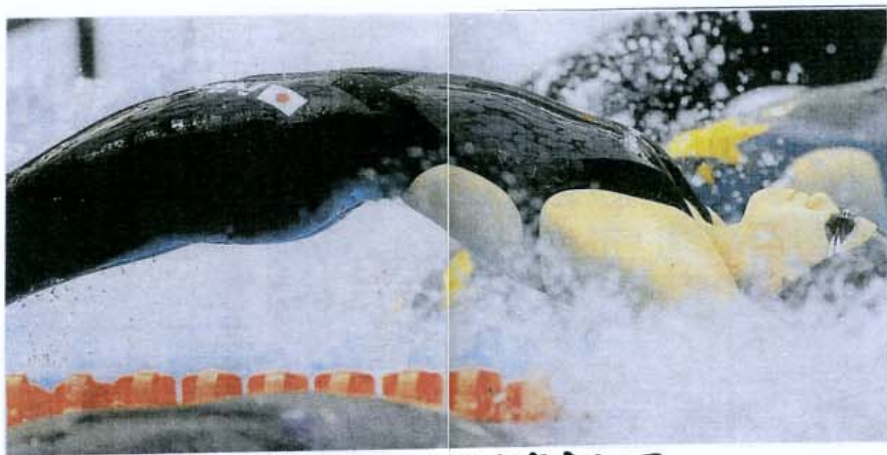


北京五輪銅メダルおめでとう



礼子ちゃんの思い出を胸に熱く語り下された山田様御夫妻(小泊6区)。孫の応援に北京までかけつけて声援を送りつけた。祖父の山田正治様が8月7日に小泊を出発して10日以上もの長旅としても80歳を越えているとは思えません。



200m背泳決勝スタートの中村礼子さん。

100mでは予選で1分を切りながら、決勝ではタイムをのばせず6位だったが、200mでは自己ベストを1秒以上更新する好タイムでアテネにつぐ2回目の銅メダルを獲得。“平井コー子の作戦が良かったんだ”とほめていました。又、礼子は身内のオシの顔を見るとよけい頑張ると。満足気☺でした。小泊へお礼の為、おとづれるそうです。...メダリストが見れるなんて楽しみです。

*中国は広くて、国家水泳センターに行くのに地下鉄で2回も乗りかえて、15〜20分徒歩でやっと会場へ着く。乗り込む時のメーは横から押し込めたり、今一でしたが、お年寄りには親切で、すぐ席をゆずってくれたそうです。

*表彰台から降りて来て、一番最初に私にメダルを掛けてくれ、本当にうれしかった事。決勝が終って、ゆくり休んでいるのかと思ったら、メドレリレーの為に横の準備プールでメンバーと一緒にけんめい練習しているのが目に入り、大変さを実感。平井コー子が外に居る遠い私達を見つけて下さり、メンバー全員を呼んで合わせて下さり、おめでとう来ました。楽しいお話をありがとうございました。元気と頂き、謝、謝、謝。

日本加油 礼子加油

おばあさんも行けたら〜と何回も残念そうでした。



北京五輪記念品。裏にはサインが...

太平洋戦争終り
地域づくりは人づくり
からの思いから、生涯
学習活動が行われていた。

教育教え歌
室岡博校長

若いお母さんを中心に
磯部地区勤務の学
校の先生が夜学でいろ
いろな事を教えていた。
今でも通じるのではないかと。

①つとや
人の子我が子とへだてなく
仲間を育て、となり組
村のうち

②つとや
ふた親育ちは幸せよ
根も葉もつよくて、たおれぬ
浜の松

～岩右工門日記～
「自己最高をめざしたい」



2週間に及んだ北京オリンピックが閉幕した。連日ヒーローのコメントが世界中に流された。勝者のコメントはいずれも周囲の人々への感謝の念で語られ、その謙虚さに敬服する。しかし、その陰で力及ばず敗者となった選手の言葉は多くの人々を勇気づける。銅メダルを自分の色だと誇った選手、自己最高記録で勝ち取った銅メダルを宝物だと喜んだ選手達にこそ、オリンピックは永遠に存続する。我々も何事にも自己最高を志して日々を送りたいものである。

中村礼子先生、2大会連続銅牌、恭喜恭喜！
(中村礼子さん、2大会連続銅メダル、おめでとう！)